

京都市 全員給食を検討

市立中学校 市民の運動が動かす

京都市教育委員会は

25日、市立中学校での
全員制給食実施を検討
する方針を明らかにし
ました。同日の市議会
教育福祉委員会で、稲
田新吾教育長が「全員
制中学校給食の実施を
視野に入れた調査を行
う予算を計上できるよ
う、調整を図りたい」

と答弁しました。

政令市では京都市な
ど3市だけが未計画
で、京都府内では京都
市だけが計画もなく取
り残されてきました。
2003年度から全校
で始まった、家庭から
の弁当か注文制のデリ
バリー弁当かを選ぶ
「選択制」給食は喫食率

が3割に満たず、「小

学校のような全員制の
中学校給食」の実施を
求めて、新日本婦人の
会をはじめ、保護者、
市民らが「連絡会」を
つくり、これまで6万
人分を超える署名や、
アンケートによる声を
集める活動など、市へ
の要請や請願行動を展

開。日本共産党市議団
は、議会で実施を求め
論戦するとともに、請
願採択を主張してきま
した。粘り強い運動と
党市議団の論戦が議会
を動かしました。

この問題に12年前か
ら取り組んできた、日
本共産党の、えもとか
よこ市議候補（右京
区）は「重い扉がよう
やく動きました。早期
実施が大事です。京都
市にはあくまで学校調
理での実施を求めて、
さらに奮闘したい」と
語りました。